

第135回近畿産科婦人科学会学術集会
プログラム・講演抄録

会 期：平成28年10月22日(土)，23日(日)

会 場：メルパルク京都，京都センチュリーホテル

近畿産科婦人科学会 会長 田村 秀子
学術集会長 小西 郁生

(注意：当日は抄録集を発行いたしませんので，必ず本誌をご持参ください)

第135回近畿産科婦人科学会学術集会 ご案内

会 期：平成28年10月22日（土）16：00～19：00
10月23日（日）9：00～17：00

会 場：メルパルク京都

〒600-8216 京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町676番13
TEL：075-352-7444 FAX：075-352-7390

第1会場：会議室C（6階）

10月22日（土）：新専門医制度必修講習会（医療安全），新専門医制度必修講習会（感染対策）

10月23日（日）：新専門医制度必修講習会（医療倫理），教育講演，スポンサー特別講演，ランチョンセミナー1，招請講演，第102回腫瘍研究部会

第2会場：会議室D（6階）

10月23日（日）：ランチョンセミナー2，周産期研究部会

第3会場：会議室6（6階）

10月23日（日）：ランチョンセミナー3，生殖内分泌・女性ヘルスケア研究会

第4会場：会議室A（5階）

10月23日（日）：日産婦医会委員会ワークショップ

京都センチュリーホテル

〒600-8216 京都市下京区東塩小路町680
TEL：075-351-0111 FAX：075-343-3721

瑞鳳（1階）：10月22日（土）第3回京都産婦人科漢方研究会，懇親会

<学会参加者へのご案内>

- * 学会参加費5,000円を会場受付で申し受けます。その際、参加章（領収書）をお受けとってください。クレジットカードでのお支払いはできません。初期研修医・医学生の学会参加費は無料です。
- * 第102回腫瘍研究部会におきまして、近畿産科婦人科学会会員以外の看護師、理学療法士らのメディカルスタッフの方が腫瘍研究部会に参加される場合の参加費は無料です。会場の受付にて、氏名と所属先をご記名いただき、名札をお受け取りください。研究部会の会場内におきましては、必ず名札の着用をお願いいたします。

<各種研修証明について>

- * 日本産科婦人科学会専門医 研修出席証明：10単位
「e医学会カード（UMINカード，日本産科婦人科学会発行）」を利用いたします。会員の皆様は「e医学会カード」をご持参の上，受付にてお申し出ください。
- * 日本産婦人科医会研修参加証：日ごと1枚配布
シールを各日発行いたします。受付にてお申し出ください。

＜新専門医制度必修講習会 単位付与について＞

下記のセッションにおいて単位を付与いたします。

10月22日（土）

16：00～17：00	医療安全講習	1単位	「重大医療事故後の組織対応」*入室時参加登録
17：00～18：00	感染対策講習	1単位	「感染症診療の視点からみた院内感染の制御」 *退室時参加登録
18：00～19：00	産婦人科領域講習	1単位	第3回京都産婦人科漢方研究会 (於：京都センチュリーホテル) *入室時参加登録

10月23日（日）

9：00～10：00	医療倫理講習	1単位	「医療と研究の倫理—おさえておいてほしいあれこれ」 *入室時参加登録
10：00～11：00	産婦人科領域講習	1単位	教育講演「思春期女子～女子大生のヘルスケア」 *退室時参加登録
11：00～12：00	産婦人科領域講習	1単位	スポンサード特別講演 「華麗なる加齢のために～女性医学の現状と将来～」 *退室時参加登録
13：00～14：00	産婦人科領域講習	1単位	招請講演「女性のコレステロール値をどう診ていくか？」 *入室時参加登録
14：00～17：00	産婦人科領域講習	1単位	日本産婦人科医会委員会ワークショップ *入室時参加登録 「産婦人科領域のがん診療に関する最近の話題」

【参加登録方法】

各講習会場で「e 医学会カード」のバーコードを読み取ることで参加登録を行います。

ご出席の先生は必ず「e 医学会カード」にて参加登録を行ってください。

参加登録のタイミングは講習会によって異なります（入室時または退室時）。

※日本産科婦人科学会会員で「e 医学会カード」を紛失等でお持ちでない方は運転免許証等でご本人確認の上、登録確認を行います。

＜懇親会＞

日 時：10月22日（土）19：30～

会 場：京都センチュリーホテル 1階「瑞鳳」

参加費：無料 多数のご参加をお待ちしております。

< 学会場案内図 >

■会場：メルパルク京都

〒600-8216 京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町676番13

TEL：075-352-7444 FAX：075-352-7390

京都センチュリーホテル

〒600-8216 京都市下京区東塩小路町680

TEL：075-351-0111 FAX：075-343-3721

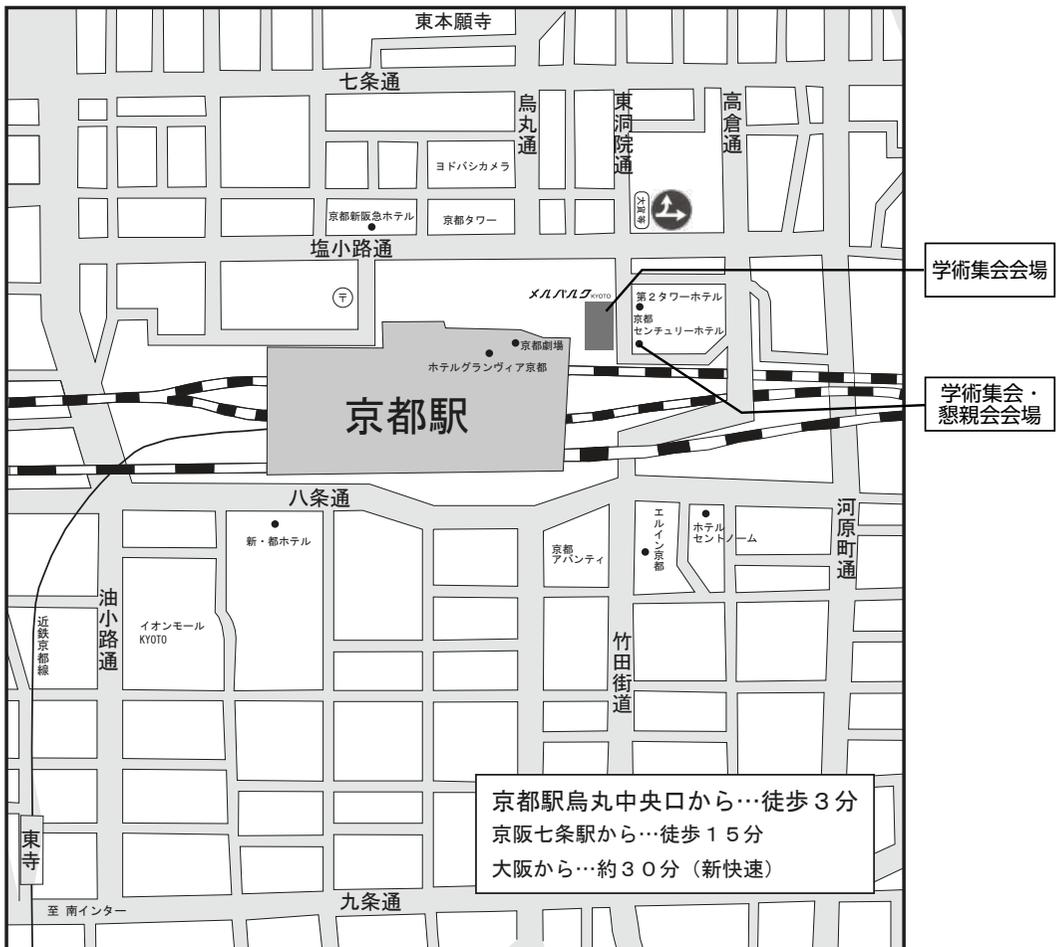
■交通のご案内

< 公共の交通機関をご利用の場合 >

- ・JR京都駅（烏丸中央口）から東へ約1分

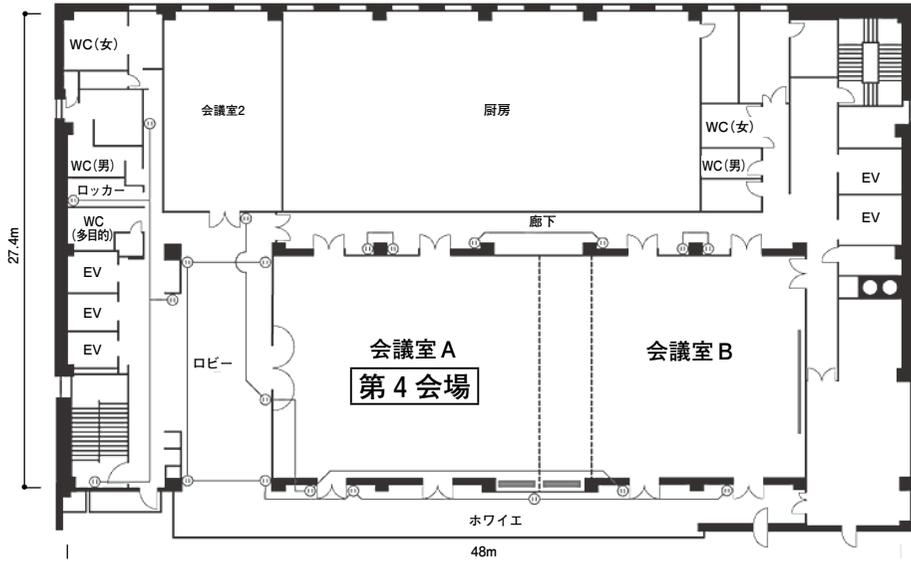
< お車をご利用の場合 >

- ・名神高速道路京都南インターより国道1号線経由で約10分
- ・*会場の駐車場は有料となります。

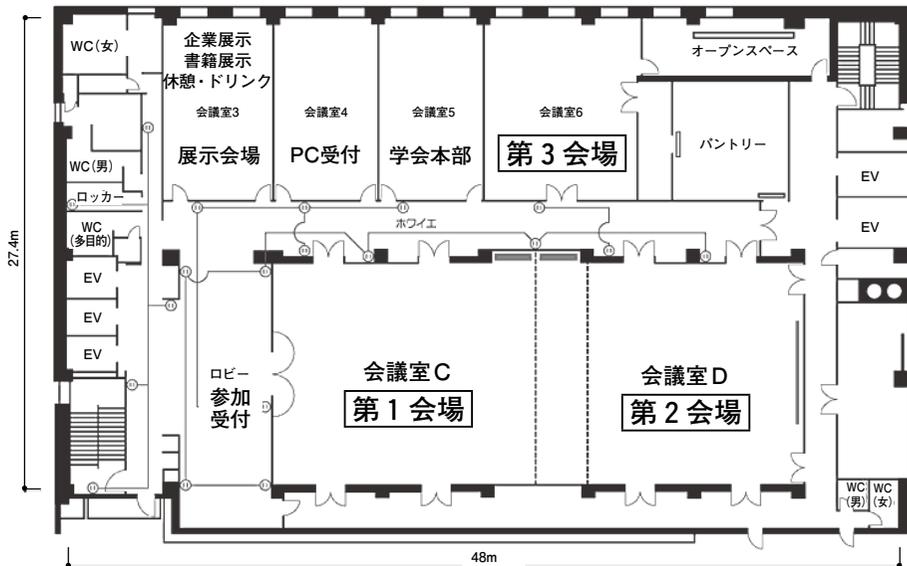


< 各会場案内図 >

■ 5 F



■ 6 F



学会進行表

■平成28年10月22日（土）

●メルパルク京都

第1会場 会議室C	
15:50	開会の辞
16:00	新専門医制度必修講習会： 医療安全 座長：小林 浩 演者：松村由美 (P)
17:00	新専門医制度必修講習会： 感染対策 座長：大道正英 演者：高倉俊二 (P)
18:00	

●京都センチュリーホテル

1階 瑞鳳	
18:00	第3回京都産婦人科漢方研究会 (ツムラ) 座長：小西郁生 演者：蔭山 充 上園保仁 (P)
19:00	
19:30	
21:30	懇親会

■平成28年10月23日（日）

●メルパルク京都

	第1会場 会議室C (6F)	第2会場 会議室D (6F)	第3会場 会議室6 (6F)	第4会場 会議室A (5F)
9:00	新専門医制度必修講習会：医療倫理 座長：井篁一彦 演者：佐藤恵子 (P)			
10:00	教育講演 座長：小西郁生 演者：甲村弘子 江川美保 (P)			
11:00	スポンサー特別講演 (大塚製薬) 座長：古山将康 演者：高松 潔 (P)			
12:00	ランチョンセミナー1 (持田製薬) 座長：村上 節 演者：和泉俊一郎	ランチョンセミナー2 (バイエル薬品) 座長：柴原浩章 演者：安達知子	ランチョンセミナー3 (久光製薬) 座長：万代昌紀 演者：高橋一広	
13:00	招請講演 座長：田村秀子 演者：若槻明彦 (P)			
14:00	第102回 腫瘍研究部会 テーマ「実践「リンパ浮腫—治療から連携まで—」	周産期研究部会 テーマ「羊水塞栓症～母体死亡を防ぐために」	生殖内分泌・ 女性ヘルスケア 研究会 テーマ「閉経周辺期の諸問題（早期卵巣不全POIを含む）」	日産婦医会委員会 ワークショップ 「新ガイドラインに則したOC・LEPの使い方」 「子宮体がんの診断」 「がん患者に対する精子凍結、卵子凍結、そして卵巣組織凍結」 「保険診療の最近の話題」 (P)
17:00				

※(P) …新専門医制度の単位付与対象セッション

テーマ「“女性のヘルスケア向上”をさらに進めましょう！」

■10月22日（土）

新専門医制度必修講習会

●16：00～17：00

1. 「重大医療事故後の組織対応」

座長：奈良県立医科大学産科婦人科学教室教授 小林 浩 先生
 演者：京都大学医学部附属病院准教授 医療安全管理室室長 松村 由美 先生

●17：00～18：00

2. 「感染症診療の視点からみた院内感染の制御」

座長：大阪医科大学産科婦人科学教室教授 大道 正英 先生
 演者：京都大学医学部附属病院感染制御部准教授 高倉 俊二 先生

第3回京都産婦人科漢方研究会

●18：00～19：00（於：京都センチュリーホテル）

共催：株式会社ツムラ

座長：国立病院機構京都医療センター院長 小西 郁生 先生
 演者：講演1「女性の不定愁訴（神経質）に、まず四逆散を！」

京都大学大学院医学研究科器官外科学婦人科学産科学

蔭山 充 先生

講演2「婦人科がん治療のQOL向上および体調管理に役立つ漢方薬」

国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究分野分野長

上園 保仁 先生

●19：30～（於：京都センチュリーホテル）懇親会

■10月23日（日）

新専門医制度必修講習会

●9：00～10：00

3. 「医療と研究の倫理—おさえておいてほしいあれこれ」

座長：和歌山県立医科大学産婦人科教授 井 篁 一 彦 先生
 演者：京都大学医学部附属病院臨床研究総合センター准教授 佐藤 恵子 先生

教育講演

●10:00～11:00

「思春期女子～女子大生のヘルスケア」

座長：国立病院機構京都医療センター院長	小西郁生先生
演者：講演1「神経性やせ症～産婦人科医の対応～」	
こうむら女性クリニック院長	甲村弘子先生
講演2「月経前症候群～産婦人科医の役割～」	
京都大学医学部附属病院産科婦人科特定助教	江川美保先生

スポンサード特別講演

●11:00～12:00

「華麗なる加齢のために～女性医学の現状と将来～」

座長：大阪市立大学大学院医学研究科女性生涯医学教授	共催：大塚製薬株式会社	古山将康先生
演者：東京歯科大学市川総合病院産婦人科教授		高松潔先生

ランチョンセミナー

●12:00～13:00

1. 「子宮内膜症・腺筋症の薬物治療：基礎から見直してみよう」

座長：滋賀医科大学産科婦人科学教授	共催：持田製薬株式会社	村上節先生
演者：東海大学医学部産科婦人科学教授		和泉俊一郎先生

2. 「最新 OC/LEP ガイドラインと実地診療」

座長：兵庫医科大学産科婦人科学教授	共催：バイエル薬品株式会社	柴原浩章先生
演者：愛育病院副院長		安達知子先生

3. 「婦人科がん治療後のヘルスケア」

座長：近畿大学医学部産科婦人科学教授	共催：久光製薬株式会社	万代昌紀先生
演者：山形大学医学部産科婦人科学准教授		高橋一広先生

招請講演

●13:00～14:00

「女性のコレステロール値をどう診ていくか？」

座長：近畿産科婦人科学会会長	田村秀子先生
演者：愛知医科大学産婦人科学教室主任教授	若槻明彦先生

研究部会プログラム

■平成28年10月23日（日）

【第102回腫瘍研究部会（第1会場 会議室C）】

（14：00～17：00）

開会のあいさつ

代表世話人：小林 浩

テーマ：「実践「リンパ浮腫」—治療から連携まで—」

（発表5分，質疑2分）

セッションⅠ（14：05～14：47）

座長：寺井 義人

1. 「当院におけるリンパ浮腫外来についての検討」

山添 紗恵子，増田 望穂，前田 裕斗，柳川 真澄，崎山 明日香，中北 麦，松林 彩，
小林 史昌，林 信孝，小山 瑠梨子，大竹 紀子，富田 裕之，池田 裕美枝，
上松 和彦，青木 卓哉，今村 裕子，吉岡 信也（神戸市立医療センター中央市民病院）

2. 「婦人科術後リンパ浮腫に対するリンパ浮腫外来の役割について」

原 武也，三好 愛，涌井 菜央，田中 あすか，金尾 世里加，直居 裕和，
竹田 満寿美，三村 真由子，長松 正章，横井 猛

（泉州広域母子医療センター市立貝塚病院）

3. 「リンパ管温存リンパ節郭清によるリンパ浮腫予防の臨床成績」

北 正人¹⁾，佛原 悠介¹⁾，木戸 健陽¹⁾，村田 紘未¹⁾，溝上 友美¹⁾，吉村 智雄¹⁾，
岡田 英孝¹⁾，大竹 紀子²⁾，吉岡 信也²⁾

（関西医科大学¹⁾，神戸市立医療センター中央市民病院²⁾）

4. 「術後リンパ浮腫に対する当科の取り組み」

鏑本 浩志，上田 友子，三宅 麻由，竹山 龍，井上 佳代，坂根 理矢，
柴原 浩章

（兵庫医科大学）

5. 「婦人科がん治療に関連したリンパ浮腫に対する当院での治療の検討と今後の展望」

手向 麻衣，久松 武志，神野 友里，大歳 愛由子，徳川 睦美，塚原 稚香子，
柏原 宏美，宮武 崇，久本 浩司，西尾 幸浩

（大阪警察病院）

6. 「当院におけるリンパ嚢胞の発症因子についての検討」

笠井 真理，和田 卓磨，川西 勝，田坂 玲子，今井 健至，福田 武史，橋口 裕紀，
市村 友季，安井 智代，角 俊幸

（大阪市立大学）

セッションⅡ（14：47～15：22）

座長：吉岡 信也

7. 「当センターのリンパ浮腫外来の現状と今後の課題」

松原 翔，永井 景，小川 憲二，安川 久吉，赤田 忍

（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター）

8. 「術後リンパ浮腫に対する当科での取り組み」

加藤 聖子, 益田 真志, 福山 真理, 栗原 甲妃, 南川 麻里, 山本 彩,
衛藤 美穂, 藤田 宏行 (京都第二赤十字病院)

9. 「リンパ節郭清術後の下肢リンパ浮腫に対する当院での取り組み」

八木 太郎, 小谷 知紘, 小野 ひとみ, 大久保 理恵子, 下地 香乃子, 中川 美生
後藤 摩耶子, 鶴田 智彦, 田島 里奈, 堀 謙輔, 伊藤 公彦 (関西ろうさい病院)

10. 「リンパ浮腫に対する術前リンパシンチグラフィーの有用性について」

橋田 宗祐¹⁾, 芦原 敬允¹⁾, 前田 和也¹⁾, 藤原 聡枝¹⁾, 田中 智人¹⁾, 田中 良道¹⁾
恒遠 啓示¹⁾, 寺井 義人¹⁾, 大道 正英¹⁾, 塗 隆志²⁾, 上田 晃一²⁾
(大阪医科大学¹⁾, 同形成外科²⁾)

11. 「当科におけるリンパ節郭清施行後のリンパ浮腫予防指導後に当院リンパ浮腫外来を受診した症例についての検討」

中川 哲也, 樋口 明日香, 西村 宙起, 山中 章義, 天野 創, 脇ノ上 史朗,
木村 文則, 高橋 健太郎, 村上 節 (滋賀医科大学)

ワークショップ「実践「リンパ浮腫」—治療から連携まで—」

(15:30~16:55)

座長: 川村 直樹

「婦人科悪性腫瘍におけるリンパ浮腫アンケートの結果報告」

川村 直樹 (大阪市立総合医療センター)

(発表15分, 質疑5分)

1. 「続発性リンパ浮腫診療の現況と問題点」

松尾 汎 (松尾クリニック, 藤田保健衛生大学)

2. 「婦人科におけるリンパ浮腫へのかかわり」

椎名 昌美 (近畿大学東洋医学研究所)

3. 「看護師の立場から」

谷口 友恵¹⁾, 松尾 葉子¹⁾, 村中 恵子¹⁾, 松木 貴子²⁾, 村上 誠²⁾, 徳山 治²⁾,
深山 雅人²⁾, 川村 直樹²⁾ (大阪市立総合医療センター看護部¹⁾, 同婦人科²⁾)

4. 「理学療法士の立場から」

上田 亨 (リムズ徳島クリニック リハビリテーション科)

5. 「リンパ浮腫外来立ち上げに向けた取り組みについて」

菊谷 光代¹⁾, 中山 明美¹⁾, 錦 恵美子¹⁾, 川口 龍二²⁾, 小林 浩²⁾
(奈良県立医科大学看護部¹⁾, 同産科婦人科²⁾)

■平成28年10月23日（日）

【周産期研究部会（第2会場）】

(14:00~17:00)

開会の挨拶

代表世話人：木村 正

当番世話人：小林 浩

テーマ：「羊水塞栓症～母体死亡を防ぐために～」

(発表6分、質疑4分)

セッションⅠ (14:00~14:40)

座長：大井 豪一

1. 「分娩後子宮型羊水塞栓症にて心肺停止蘇生後、当院へ搬送となり母体死亡に至った1症例」

香林 正樹, 遠藤 雅之, 木瀬 康人, 岩宮 正, 松崎 慎哉, 味村 和哉,
熊澤 恵一, 木村 正 (大阪大学)

2. 「子宮摘出にて救命し得た臨床的羊水塞栓症の1例」

林 香里, 小野 哲男, 山田 一貴, 桂 大輔, 石河 顕子, 辻 俊一郎, 木村 文則,
高橋 健太郎, 村上 節 (滋賀医科大学)

3. 「羊水塞栓が疑われた帝王切開直後DICの1例」

近藤 美保, 藁谷 深洋子, 馬淵 亜希, 安尾 忠浩, 岩佐 弘一, 北脇 城
(京都府立医科大学)

4. 「帝王切開時、大量出血と突然の心肺停止の発生から臨床羊水塞栓症が疑われた1例」

梅澤 奈穂, 福田 綾, 和田 あずさ, 尹 純奈, 福岡 寛子, 大八木 知史,
坪内 弘明, 筒井 建紀 (JCHO大阪病院)

セッションⅡ (14:41~15:21)

座長：近藤 英治

5. 「羊水塞栓症により心肺停止となり死戦期帝王切開を行うも母体死亡に至った1症例」

坪倉 弘晃, 笠松 敦, 生駒 洋平, 吉田 彩, 榎木 晋, 岡田 英孝
(関西医科大学)

6. 「病理組織学的に診断された子宮型羊水塞栓症の2例」

井手本 尚子, 田中 和東, 鹿野 理恵子, 松木 厚, 公森 摩耶, 松木 貴子,
西沢 美奈子, 西本 幸代, 梶谷 耕二, 中村 博昭, 中本 収
(大阪市立総合医療センター)

7. 「帝王切開後の子宮型羊水塞栓症を疑うも、病理学的に確定診断できなかった症例」

丸尾 伸之 (淀川キリスト教病院)

8. 「集中治療部との連携により救命しえた羊水塞栓症の1例」

太田 志代¹⁾, 山本 亮¹⁾, 志村 宏太郎¹⁾, 下川 亮²⁾, 清水 義之³⁾, 石井 桂介¹⁾,
光田 信明¹⁾ (大阪府立母子保健総合医療センター¹⁾, 同麻酔科²⁾, 同集中治療科³⁾)

セッションⅢ (15:22~16:02)

座長：吉松 淳

9. 「異なる出血の様相を呈した臨床的羊水塞栓症の3例」

森内 芳, 千草 義継, 伊尾 紳吾, 谷 洋彦, 濱西 潤三, 近藤 英治, 松村 謙臣
(京都大学)

10. 「帝王切開術後の大量出血にて子宮全摘術を施行し, 病理診断にて子宮型羊水塞栓症と診断し得た1例」

小谷 知紘, 八木 太郎, 小野 ひとみ, 大久保 理恵子, 下地 香乃子, 中川 美生,
後藤 摩耶子, 鶴田 智彦, 田島 里奈, 堀 謙輔, 伊藤 公彦 (関西ろうさい病院)

11. 「当院における子宮型羊水塞栓症症例の解析」

前田 裕斗, 増田 望穂, 柳川 真澄, 山添 紗恵子, 松林 彩, 崎山 明香,
中北 麦, 小林 史昌, 林 信孝, 小山 瑠梨子, 大竹 紀子, 富田 裕之,
上松 和彦, 池田 裕美枝, 青木 卓哉, 今村 裕子, 吉岡 信也
(神戸市立医療センター中央市民病院)

12. 「心肺虚脱型の羊水塞栓症について」

布出 実紗, 藤田 太輔, 田路 明彦, 宮本 聖愛, 橋田 宗祐, 村山 結美,
永易 洋子, 岡本 敦子, 佐野 匠, 神吉 一良, 鈴木 裕介, 寺井 義人,
大道 正英 (大阪医科大学)

セッションⅣ (16:03~16:43)

座長：金川 武司

13. 「心肺停止後の吸引分娩に至った臨床的羊水塞栓症の1例～ローリスク症例でも心肺虚脱型羊水塞栓は発症する～」

西川 茂樹, 中後 聡, 飯塚 徳昭, 神谷 亮佑, 小寺 知揮, 松木 理薫子,
柴田 貴司, 加藤 大樹, 大石 哲也, 小辻 文和 (愛仁会高槻病院)

14. 「子宮型羊水塞栓症が疑われた3症例の検討」

松原 裕明, 三枚 卓也, 植村 遼, 橋本 純子, 内田 啓子, 柳井 咲花,
榎本 小弓, 横井 夏子, 片山 浩子, 羽室 明洋, 中野 朱美, 橋 大介,
古山 将康 (大阪市立大学)

15. 「救命し得た臨床的羊水塞栓症の1例」

上林 翔大, 丸山 俊輔, 多賀 敦子, 江本 郁子, 三瀬 裕子, 金 共子,
佐藤 幸保 (大津赤十字病院)

16. 「双胎妊娠予定帝王切開の産科危機的出血を子宮型羊水塞栓症と診断した1例」

佐々木 義和, 常見 泰平, 鹿庭 寛子, 山中 彰一郎, 今中 聖悟, 長安 実加,
赤坂 珠理晃, 佐道 俊幸, 小林 浩 (奈良県立医科大学)

総括 (16:44~16:54)

「周産期研究部会アンケート報告と羊水塞栓症の病態解明に向けた今後の臨床研究の方向性」

座長：金川 武司 (大阪府立母子保健総合医療センター)

演者：小林 浩 (奈良県立医科大学)

■平成28年10月23日（日）

【生殖内分泌・女性ヘルスケア研究部会（第3会場 会議室6）】

(14:00~17:00)

開会の挨拶

代表世話人 柴原 浩章

テーマ：「閉経周辺期の諸問題（早発卵巣不全POIを含む）」

(14:00~14:15)

グループスタディー

座長：南 佐和子

「近畿におけるホルモン補充療法（HRT）の現況」

演者：京都府立医科大学 岩佐 弘一

(14:15~15:00)

基調講演

座長：井篁 一彦

「早発卵巣不全患者における生殖医療の現状と将来的展望」

演者：聖マリアンナ医科大学産婦人科学 高江 正道

(発表6分、質疑3分)

(15:00~15:45)

一般演題1

座長：林 正美

1. 「妊娠出産に至ったPrimary ovarian insufficiency (POI) の3症例」

北山 利江, 藤岡 聡子, 小宮 慎之介, 高橋 佳代, 井田 守, 福田 愛作

(IVF大阪クリニック)

2. 「不妊外来で生児を得た40歳以上の高年齢女性の検討」

杉山 由希子, 松岡 理恵, 森本 篤, 森本 真晴, 浮田 裕司, 加藤 徹, 脇本 裕,
都築 たまみ, 柴原 浩章 (兵庫医科大学, 兵庫医科大学病院生殖医療センター)

3. 「Poor responderに対するレトロゾールを用いた体外受精の治療成績」

森宗 愛菜, 平田 貴美子, 木村 文則, 花田 哲郎, 竹林 明枝, 高島 明子,
高橋 健太郎, 村上 節 (滋賀医科大学)

4. 「早発卵巣不全に対する持続性卵胞ホルモン製剤の有効性について」

羽室 明洋¹⁾, 三枚 卓也¹⁾, 橘 大介¹⁾, 古山 将康¹⁾, 春木 篤²⁾, 三枚 史子²⁾(大阪市立大学¹⁾, 春木レディースクリニック²⁾)

5. 「当院で不妊治療を施行した早発卵巣不全症例に関する検討」

北脇 佳美, 堀江 昭史, 奥宮 明日香, 上田 匡, 宮崎 有美子, 谷 洋彦,
伊藤 美幸, 松村 謙臣 (京都大学)

(15:45~16:21)

一般演題2

座長：辻 勲

6. 「分娩後にAnti-mullerian Hormone (AMH) が上昇した1例」

鈴木 陽介, 熊澤 恵一, 福田 弥生, 高岡 幸, 佐藤 紀子, 山下 美智子, 繁田 直哉,
田中 絢香, 金 南考, 小泉 花織, 古谷 毅一郎, 安井 悠里, 中村 仁美,
木村 正 (大阪大学)

7. 「30歳未満の早発卵巣不全症例」

佐々木 徳之, 南 佐和子, 小林 彩, 堀内 優子, 城 道久, 太田 菜美,
馬淵 泰士, 八木 重孝, 井篁 一彦 (和歌山県立医科大学)

8. 「化学療法中に検査上は卵巣機能不全が疑われたが, 卵巣組織凍結を実施した1例」

金 梨花, 木村 文則, 花田 哲郎, 森宗 愛菜, 平田 貴美子, 竹林 明枝,
高島 明子, 高橋 健太郎, 村上 節 (滋賀医科大学)

9. 「卵巣凍結保存後2年経過した患者における卵巣機能の検討」

上村 真央, 花田 哲郎, 森宗 愛菜, 西村 宙起, 樋口 明日香, 平田 貴美子,
山中 章義, 竹林 明枝, 天野 創, 高島 明子, 脇ノ上 史朗, 中川 哲也,
辻 俊一郎, 木村 文則, 高橋 健太郎, 村上 節 (滋賀医科大学)

(16:21~16:57)

一般演題3

座長：岩佐 弘一

10. 「心疾患を有する女性にレボノルゲストレル放出子宮内システムは安全に使用できる」

上田 優輔, 神谷 千津子, 岩永 直子, 中島 文香, 太田 沙緒里, 月永 理恵,
成富 祥子, 澤田 雅美, 塩野 入規, 横内 妙, 井出 哲弥, 堀内 縁, 三好 剛一,
釣谷 充弘, 陌間 亮一, 長澤 真由美, 根木 玲子, 吉松 淳
(国立循環器病研究センター周産期・婦人科)

11. 「婦人科癌治療をうけた閉経後骨塩量減少患者に対するデノスマブの治療効果の検討」

中塚 えりか, 澤田 健二郎, 木瀬 康人, 吉村 明彦, 黒田 浩正, 小笹 勝巳,
中村 幸司, 小玉 美智子, 橋本 香映, 馬淵 誠士, 木村 正 (大阪大学)

12. 「卵巣チョコレート嚢胞核出術後に月経不順, 無月経をきたした症例の検討」

山中 彰一郎, 新納 恵美子, 鹿庭 寛子, 岩井 加奈, 森岡 佐知子, 小池 奈月,
重富 洋志, 棚瀬 康仁, 川口 龍二, 小林 浩 (奈良県立医科大学)

13. 「若年子宮頸癌患者治療による骨密度への影響および術後エストロゲン補充療法 (ERT) の効果」

佐々木 浩, 宮本 聖愛, 高井 雅聡, 中村 起代子, 寺井 義人, 大道 正英
(大阪医科大学)

閉会の挨拶

当番世話人：井篁 一彦

日本産婦人科医会委員会ワークショップ

■ 平成28年10月23日 (日) 第4会場 会議室A (5階)

(14:00~17:00)

座長：井上卓也 (足立病院)
藤田宏行 (京都第二赤十字病院)

1. 「新ガイドラインに則したOC・LEPの使い方」

岩佐 弘一 (京都府立医科大学)

〈産婦人科領域のがん診療に関する最近の話題〉 (機構専門医の認定講習)

2-1. 「子宮体がんの診断」

馬場 長 (京都大学)

2-2. 「がん患者に対する精子凍結, 卵子凍結, そして卵巣組織凍結」

木村 文則 (滋賀医科大学)

3. 「保険診療の最近の話題」

片嶋 純雄 (日本産科婦人科医会委員会社会保険部会)

研修部会では毎年秋に開催される学術集会でのワークショップの企画と運営を行っています。当部会員の先生方が1年間の議論を積み重ねて練り上げているため、すでに開業されている先生方はもちろんのこと、勤務医の先生方にも興味深い内容になっていると思います。多数のご参加をお待ち申し上げます。

- (1) 京都府立医科大学の岩佐先生には昨年度に発刊されたOC・LEPガイドラインの作成委員としてご尽力いただいたお立場より講演いただきます。
- (2) 京都大学の馬場先生には「子宮体がんの診断」をテーマに、病理診断の問題点やピットフォールなどを、浸潤形式に通常型以外にMELF型という特殊型が存在するなどの最近の知見も交えて講演いただきます。
- (3) 滋賀医科大学の木村先生には、若年者の悪性腫瘍を克服した患者 (cancer survivor) が急速に増加しているものの、その患者の治療の影響による生殖機能の低下が問題となっていることから、現在行われている妊孕性温存の方法とその可能性、そしてこの分野に関する日本国内の動きについて概説いただきます。
- (4) 保険診療は法の下において、保険者と保険医療機関との間の公法上の契約であり、われわれ保険医は保険の基本的ルールを順守しなければなりません。医療機関に支払われる公的医療保険財政からの診療報酬は2年に1回改定されており、社保部会部会長の片嶋先生には、保険点数や日常診療における注意点をお話いただきます。

(研修部会部会長 原田直哉)